

取扱説明書



LANdeVOICE PBSP403-SIP

A2 Corporation

LdV4-PBSP403-SIP-2.0-2608

安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、当社および販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービスおよび、技術サポート等を行っておりません。

使用している表示と絵記号の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		

お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。

 警告 火災・感電・けがを防ぐために

 **感電注意**

 **発火注意**

 禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、AC100V～240V以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
 禁止	本製品（付属品含む）の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	本製品（付属品含む）に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。
 強制指示	ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
 強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 強制指示	次の場合は使用を中止してください。 ・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき ・ 煙、異臭、異音が出たとき
 強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。



注意



落雷注意



禁止

雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。



感電注意



発火注意



禁止

本製品（付属品含む）は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。

- ・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ
- ・ 急激な温度変化のあるところ（結露するようなところ）
- ・ 油煙、ほこりの多いところ
- ・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ
- ・ 保温性、保湿性の高いところ
- ・ 漏電のあるところ
- ・ 強い磁界が発生するところ
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 直射日光があたるところ
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になるところ
- ・ 振動の激しいところ
- ・ 腐食ガスが発生するところ



禁止

他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えないでください。
本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、故障の原因となります。



強制指示

本製品（付属品含む）のほこりなどは定期的にとってください。
湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

 けが注意

 強制指示	お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品（付属品含む）の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様がご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
---	--

その他

 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品（付属品含む）を拭かないでください。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれいな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭かないでください。
 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品（付属品含む）に触れる前にドアノブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。人体からの静電気は、本製品（付属品含む）を破損またはデータの消失、破損させる恐れがあります。
 強制指示	本製品（付属品含む）に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める手順（取扱説明書など）に従ってください。

はじめに

このたびは、LANdeVOICE PBSP403-SIP(本製品)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。

本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 11 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツーの登録商標です。

目次

安全上のご注意	2
はじめに	6
目次	7
第 1 章 お使いになる前にお読みください	8
付属品の確認	9
各部の名称と働き	9
LED 表示	11
第 2 章 設置と接続	15
設置する	16
電源を入れる	16
LAN ケーブルを接続する	16
電話機を接続する場合	17
公衆回線へ接続する場合	17
スピーカや放送機器を接続する場合	17
音声入力機器を接続する場合	18
接点入力のある機器を接続する場合	19
接点出力のある機器を接続する場合	19
第 3 章 設定方法	20
設定画面ログイン方法	21
設定画面について	25
設定画面のメニューについて	26
初期化の方法	28
第 4 章 設定ファイル一覧	29
基本設定ファイル (netcnfg.ini)	30
システム設定ファイル (syscnfg.ini)	32
電話番号設定ファイル (phone.ini)	54
アクション設定ファイル (action.ini)	57
第 5 章 使用例	60
発信方法	61
発信先セレクト・ボタンによる発信	63
再発信 (SP 回線)	64
第 6 章 製品仕様	65
付 録	70
付録 1 コーデック (音声圧縮方式) とは	71
付録 2 使用帯域	71
付録 3 ファイル送信による設定について	72
付録 4 TEL 回線の交換機 (PBX) 接続時の設定について	76
付録 5 FAX 接続時の設定について	77
付録 6 DHCP 設定の場合について	78
付録 7 修理について	78
付録 8 パソコンのネットワーク設定について	79

第1章 お使いになる前にお読みください

この章では、PBSP403-SIP の各部の名称と働きなどについて説明します。

- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
 - 1 上面
 - 2 背面
- LED表示
 - 1 端末状態のLED表示
 - 2 電源 LED表示
 - 3 接続 LED表示
 - 4 PSTN LED表示
 - 5 TEL LED表示
 - 6 SP LED表示
 - 7 操作ボタンのLED表示

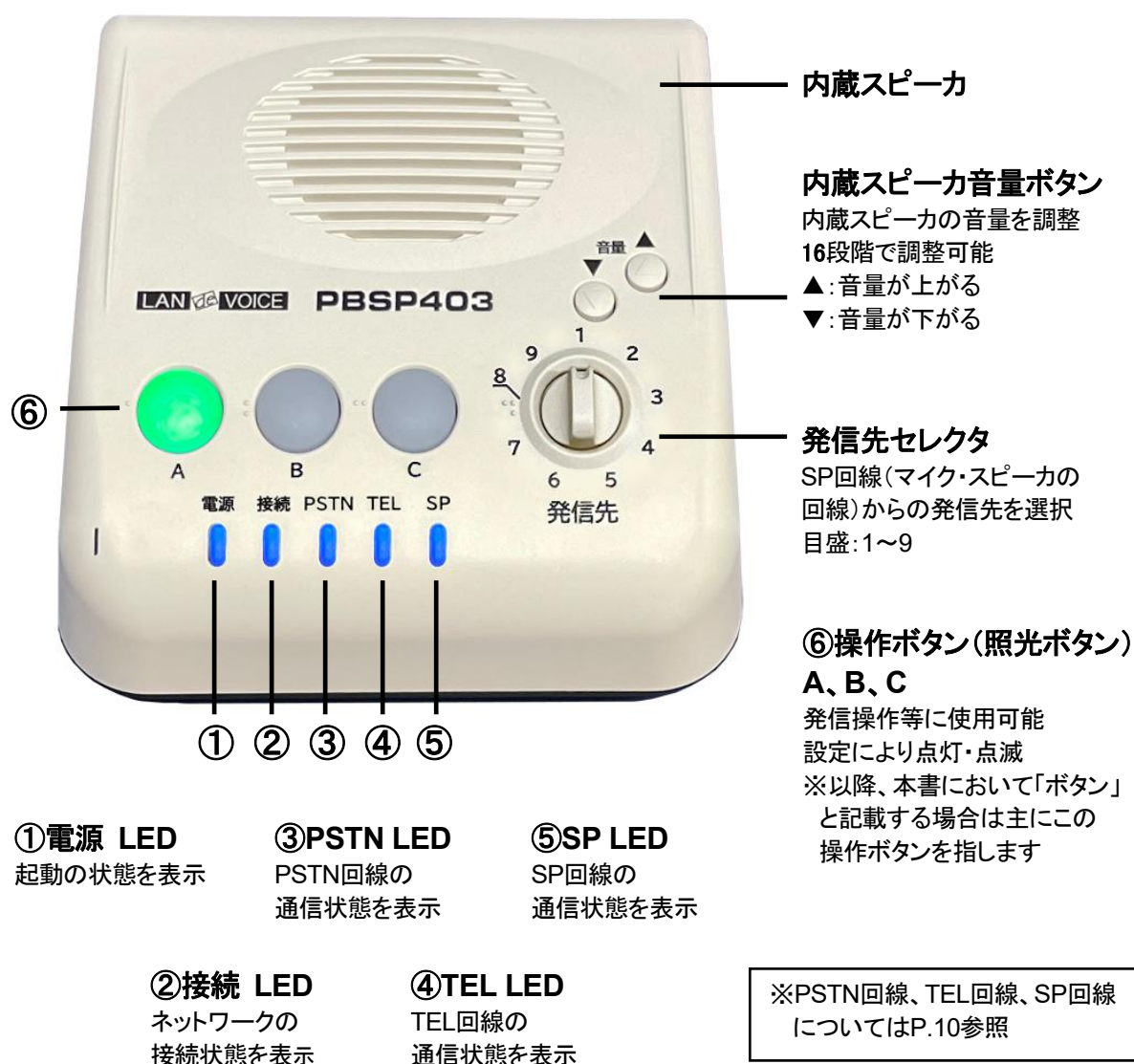
付属品の確認

PBSP403-SIPをご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。

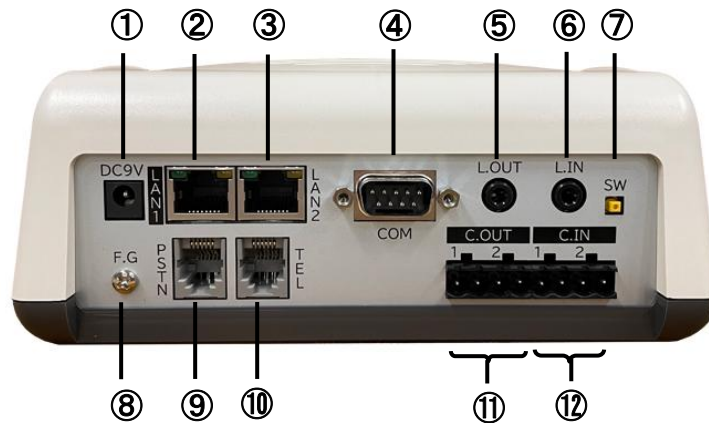
- ☐ LANdeVOICE PBSP403-SIP本体
- ☐ ACアダプタ (専用アダプタ 9V 1A)
- ☐ LANケーブル (ストレート 3m)
- ☐ 接点コネクタ (ユーロブロック) × 4
- ☐ 保証書
- ☐ シリアルシール

各部の名称と働き

1 上面



2 背面



- ① DC 9V ……付属の AC アダプタを接続
- ② LAN1
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続
PoE 受電可能、MDI 結線 ※AC アダプタ接続時は PoE 受電停止
- ③ LAN2
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続
MDI-X 結線
- ④ COM ……シリアルポート ※ユーザは使用しません
- ⑤ L.OUT ……LINE 音声出力
- ⑥ L.IN ……LINE 入力、マイク入力
- ⑦ SW ……初期化用プッシュスイッチ(P.28 参照)
- ⑧ F.G. ……接地(アース)端子 ※接続推奨
- ⑨ PSTN
RJ-11 公衆回線ポート(NTT の公衆網、PBX の単独電話回線と接続)
- ⑩ TEL
RJ-11 電話ポート(アナログ電話機、FAX、PBX の COT と接続)
- ⑪ C.OUT 1 / 2 ……接点出力端子
- ⑫ C.IN 1 / 2 ……接点入力端子 ※極性あり: 左から HOT、GND、HOT、GND

PBSP403-SIPの収容回線数は 3 回線です。

- 1 回線目: TEL回線=⑩電話ポート(TEL)
- 2 回線目: SP回線=⑤音声出力(L.OUT)、⑥音声入力(L.IN)、内蔵スピーカ
- 3 回線目: PSTN回線=⑨公衆回線ポート(PSTN)

LED表示

1 端末状態の LED 表示

上面下部の 5 つの LED が同時に動作する時は、以下の端末状態を表します。

LED表示					PBSP403-SIP の状態
電源	接続	PSTN	TEL	SP	
消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	電源OFF
最初の 2～3 秒全LED消灯、その後「電源」のみ緑点灯					電源投入時
青点灯	青点灯	消灯	青点灯/ 青遅点滅	青点灯/ 青遅点滅	待機状態 (「PSTN」ポート 未接続時)
青点灯	青点灯	青点灯/ 青遅点滅	青点灯/ 青遅点滅	青点灯/ 青遅点滅	待機状態 (「PSTN」ポート 接続時)
赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	再起動中
紫速点滅	紫速点滅	紫速点滅	紫速点滅	紫速点滅	設定画面左上 「点滅」ボタン 押下時 ※1 (3 秒間点滅)
青点灯	赤速点滅	消灯	消灯	消灯	・ DHCP 設 定 での IP アドレ ス未取得時 ・ DNS サーバ に接続できな い ※2
青点灯	赤遅点滅	消灯/ 青遅点滅	青遅点滅	青遅点滅	LANケーブル が接続されて いない
赤遅点滅	赤遅点滅	赤遅点滅	赤遅点滅	赤遅点滅	異常時 1 (ハードウェア に関する異常 を検出)
橙点灯	橙点灯	橙点灯	橙点灯	橙点灯	異常時 2 (ソフトウェア に関する異常 を検出)

※1 複数台の端末を同時に設定する場合に、設定中の端末を確認可能

※2 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の DNS1 / DNS2 に設定した DNS サーバに接続
できない時に、最長約 1 分間この表示が継続



メモ 異常時 1 および 2 の対処

端末状態のLEDが異常時 1 および 2 の状態を表しているときには、お客様では復旧できません。修理が必要となりますので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。

<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。

弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいませよう、お願いいたします。

2 電源 LED 表示

LED表示	PBSP403-SIPの状態
消灯	電源OFF
青点灯	待機状態(ACアダプタ受電時)
橙点灯	待機状態(PoE受電時)

3 接続 LED 表示

LED表示	PBSP403-SIPの状態
青点灯	待機状態
赤速点滅	・DHCP設定でのIPアドレス未取得時 ・DNSサーバに接続できていない
赤遅点滅	LANケーブルが接続されていない
橙速点滅	・必要なファイルが存在しない ・設定ファイルの内容が間違っている

4 PSTN LED 表示

LED表示	PSTN回線の状態
消灯	アナログ回線未接続時 または回線を使用しない設定になっている
青点灯	アナログ回線接続時 SIPサーバへレジストできている
青遅点滅	アナログ回線接続時 SIPサーバへレジストできていない ※本状態が 35 分続くと、自動再起動します。
赤遅点滅	・終話もしくは、通話切断 ・発信先不明、通話中 ・発信先未登録
橙遅点滅	・接続されたアナログ回線オフフック時
橙リング点滅※	・IP回線発信時 ・IP回線着信時
橙点灯	通話中

5 TEL LED 表示

LED表示	TEL回線の状態
青点灯	待機状態 SIPサーバへレジストできている
青遅点滅	SIPサーバへレジストできていない ※本状態が 35 分続くと、自動再起動します。
消灯	回線を使用しない設定になっている
赤遅点滅	・終話もしくは、通話切断 ・発信先不明、通話中 ・発信先未登録
橙遅点滅	・接続されたアナログ電話機オフフック時
橙リング点滅※	・IP回線発信時 ・IP回線着信時
橙点灯	通話中

※リング点滅とは・・・呼出信号のパターンで点滅(1 秒:速い点滅 / 2 秒:消灯)

6 SP LED 表示

LED表示	SP回線の状態
青点灯	待機状態 SIPサーバへレジストできている
青遅点滅	SIPサーバへレジストできていない ※本状態が 35 分続くと、自動再起動します。
消灯	回線を使用しない設定になっている
赤遅点滅	・終話もしくは、通話切断 ・発信先不明、通話中 ・発信先未登録
橙リング点滅※	・発信時 ・着信時
橙点灯	通話中

※リング点滅とは・・・呼出信号のパターンで点滅(1 秒:速い点滅 / 2 秒:消灯)

7 操作ボタンの LED 表示

操作ボタンの LED 表示は A、B、C 各ボタンに設定されている動作モード (P.40 参照)によって異なります。

以下は動作モードが SPSETUP(発信/切断モード)に設定されている場合の LED 表示です。

LED表示	SP回線の状態
消灯	・待機状態
速点滅	・発信時 ・着信時
点灯	・通話時
遅点滅	・通話終了時

※点灯・点滅時の色は全て緑(固定)です。

※SP 回線使用時のみ LED が動作します。

また、ボタンで発信する時は SP 回線を使用します。

※着信時は、発信設定を行っているボタンが点滅します (P.40 参照)。

第2章 設置と接続

この章では、PBSP403-SIP の設置と各機器との接続方法について説明します。

設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。

手順としては、第3章の設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

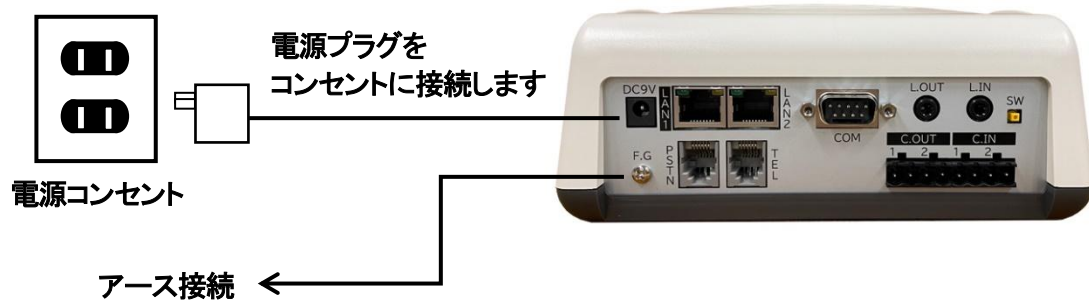
- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する
- 電話機を接続する場合
- 公衆回線へ接続する場合
- スピーカや放送機器を接続する場合
- 音声入力機器を接続する場合
- 接点入力のある機器を接続する場合
- 接点出力のある機器を接続する場合

設置する

PBSP403-SIPのゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

電源を入れる

- 1 PBSP403-SIPには電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-9V」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。
※アースの接続を推奨します。
※PoEを利用する場合、ACアダプタは不要です。



- 2 PBSP403-SIPの電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

LANケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN1」または「LAN2」と書かれたポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルータなどのネットワーク機器に接続してください。



メモ LAN1/2 ポートのリンクランプを確認してください

PBSP403-SIPとネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後にLAN1/2 ポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑ランプ(左)	黄ランプ(右)
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	無灯

電話機を接続する場合

- 1 PBSP403-SIPの「TEL」と書かれたポートへ電話機コード(RJ-11 コネクタ、6 極 2 芯のモジュラーケーブル)を接続します。
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。
- 2 電話機コードの反対側を、電話機に接続します。
受話器を上げてダイヤルトーンが聞こえるか確認してください。

公衆回線へ接続する場合

- 1 PBSP403-SIPの「PSTN」と書かれたポートへ電話機コード(RJ-11 コネクタ、6 極 2 芯のモジュラーケーブル)を接続します。
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。
- 2 電話機コードの反対側を、電話線差込口(公衆回線の口)に接続します。
PSTN LEDが青点灯していることを確認してください。

スピーカや放送機器を接続する場合

PBSP403-SIPの「L.OUT」と書かれたポートへアンプ付スピーカや放送機器の 3.5 φステレオミニプラグを接続します。

「L.OUT」の仕様についてはP.69 をご覧ください。



メモ アンプとの接続について

- ・アンプとの接続距離は 5m以内を推奨します。
- ・アンプの近くにLAN配線と電源コンセントを用意してください。

音声入力機器を接続する場合

音響機器、放送機器等を接続する

マイクミキサー、アンプ等を接続できます。

PBSP403-SIPの「L.IN」と書かれたポートへ機器を接続します。

「L.IN」の仕様についてはP.69 をご覧ください。

マイクを接続する

市販コンデンサマイク、市販ダイナミックマイク、オプション品のページングマイク「LdV-PM660W」(ダイナミックマイク)を接続できます。

※LANdeVOICE2 シリーズの PBSP、PBSP-SIP のオプション品であるページングマイク「LdV-PM660U」は、コネクタの仕様が異なるため接続することができません。

■市販コンデンサマイク、市販ダイナミックマイク

PBSP403-SIPの「L.IN」へマイクの 3.5φステレオミニプラグを接続します。

■ページングマイク

- 1 ページングマイクのケーブルへ、マイクに同梱の変換ケーブルを接続します。
- 2 PBSP403-SIPの「L.IN」へ変換ケーブルの 3.5φステレオミニプラグ側を接続します。

<ページングマイク使用方法>

- ・プレストークボタン(オレンジのボタン)を押すとマイク入力有効、放すと無効になります。
- ・通話中は、ロックレバーを ON にすることによりプレストークボタンが固定され、マイク入力有効を保持できます。
※ロックレバーを ON 状態のまま長時間放置するような使用方法是避けてください。
導通が不安定になり、誤動作の原因になる恐れがあります。
- ・プレストークボタンを押して発信/切断する機能は搭載されていません。
発信/切断は PBSP403-SIP 本体の操作ボタンで行ってください。



注意 「L.IN」の使い分け

「L.IN」に何を接続するかによって、システム設定ファイル(syscnfg.ini)のパラメータINPUT_TYPEの設定を変更する必要があります。必ず正しい設定を行ってください。誤った設定は故障の原因となります。

接点入力のある機器を接続する場合

PBSP403-SIPの「C.OUT」と書かれたポートへ、付属のユーロブロックコネクタを使用し、接点入力のある機器を接続してください。
アンプ、回転ライト等を接続できます。

接点出力のある機器を接続する場合

PBSP403-SIPの「C.IN」と書かれたポートへ、付属のユーロブロックコネクタを使用し、接点出力のある機器を接続してください。
ボタン、感知センサー等を接続できます。

第3章 設定方法

この章では、PBSP403-SIP を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- 初期化の方法



メモ 設定方法について

PBSP403-SIPは、お客様のパソコンのWebブラウザより必要な設定をして頂きます。
設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

設定画面ログイン方法

PBSP403-SIPを設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

1 本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。

PBSP403-SIPのLANポートには Auto MDI/MDI-X機能 がありません。
LAN1 ポートに Auto MDI/MDI-X機能 がないパソコンを接続する場合はHUB
経由で接続するか、直接接続したい場合はクロスケーブルで接続してください。
LAN2 ポートは Auto MDI/MDI-X機能 がないパソコンともストレートケーブルで
直接接続できます。

ACアダプタとLANケーブルの接続後、本体のLEDが待機状態になっているか
確認をしてください。
LEDについて(P.11)

【出荷時設定】

本体の IP アドレス (IP)	192.168.1.24
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ (ROUTER)	192.168.1.1
HTTP ポート番号 (HTTPD_PORT)	8084
ユーザ名	admin ※変更不可
パスワード (P.26、27 参照)	admin



注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとPBSP403-SIPは、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をPBSP403-SIPに合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。 ※P.79 参照
- ・パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨いたします。パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。
PBSP403-SIPが通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

2 パソコンのWebブラウザを起動します。

【Webブラウザとは】

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。
弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- ・Microsoft Edge
- ・Firefox
- ・Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「http://192.168.1.24:8084/」と入力し、[Enter]キーを押します。



http://192.168.1.24:8084/



PBSP403-SIP の IP アドレス



設定画面に接続するための
HTTP サーバのポート番号

※上記IPアドレスとポート番号は、出荷時設定値（初期設定値）です。
設定を変更した場合は、設定後のIPアドレスとポート番号に置き換えてください。

- 4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。
※ブラウザによって表記が異なります



The image shows a login form with two input fields. The first field is labeled 'ユーザー名' (Username) and contains the text 'admin'. The second field is labeled 'パスワード' (Password) and contains six dots '.....'. Both fields are enclosed in a red rectangular box. Below the fields are two buttons: a blue button labeled 'サインイン' (Sign In) and a grey button labeled 'キャンセル' (Cancel). The 'サインイン' button is also enclosed in a red rectangular box.

ユーザ名 : admin
パスワード : admin
半角小文字で入力してください

 注意 パスワードについて

ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。
設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティ上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。
また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

 メモ ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ PBSP403-SIPのLEDが待機状態であるか
- ・ LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか
(ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- ・ LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプがアクティブな状態になっているか
- ・ 設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・ IPアドレスおよびポート番号の値が適切か
- ・ IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・ パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて通信が確認できるか

5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。

SN2000001 | PBSP403-SIP | SN2000001

LANdeVOICEをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認ください。
製造元：株式会社エイツー
Webサイト：<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

▶ PBSP403-SIP 設定画面

▶ 端末情報

端末名	SN2000001	点滅
製品名	PBSP403-SIP	
SN	2000001	
MAC	00:10:43:14:00:01	
リリース	2.0.0	
TEL回線	呼制御ポート番号	5060
	待機状態	更新
SP回線	呼制御ポート番号	5060
	待機状態	更新
PSTN回線	呼制御ポート番号	5060
	初期化中	更新
音声ポート番号	40000 - 40031	

ログ確認 ▶

バックアップファイル作成 ▶

ファイル送信／バックアップファイル復元 ▶

▶ 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

変更したい箇所を直接書き換えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。
入力は全て半角文字を使用してください。

IPアドレス/ ネットマスク	192.168.1.24 / 24 (255.255.255.0) ▼ DHCPはIPアドレスを255.255.255.255と入力してください。
デフォルト ゲートウェイ	192.168.1.1
DNS1	
DNS2	
端末名	SN2000001 半角英数字、ピリオド、ハイフンを使用できます。 最大20文字。
HTTPポート番号	8084 (0 - 65535) 0または空白を設定すると設定画面が開かなくなります。
NTPサーバ	

キャンセル DNS確認

設定変更

設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。

設定は、直接書き換えることができます。

「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。

The screenshot shows the 'PBSP403-SIP 設定画面' (PBSP403-SIP Configuration Screen) for LANdev VOICE. The interface is divided into several sections, each with a '設定変更' (Change Settings) button at the bottom. Red boxes and lines highlight specific areas and buttons, with labels on the left and right sides.

Left Side Labels:

- 端末情報 (Terminal Information)
- 基本設定 (netcnfg.ini) キャンセルボタン (Basic Settings (netcnfg.ini) Cancel Button)
- 設定画面メニュー (Configuration Screen Menu)
- システム設定変更 キャンセルボタン (System Settings Change Cancel Button)
- 電話番号設定 変更 キャンセルボタン (Phone Number Settings Change Cancel Button)
- アクション設定 変更 キャンセルボタン (Action Settings Change Cancel Button)

Right Side Labels:

- 基本設定 (netcnfg.ini) 設定値については第4章に記載 (Basic Settings (netcnfg.ini) Setting values are described in Chapter 4)
- DHCP の場合等に、DNS 接続先を確認できます (In the case of DHCP, you can confirm the DNS connection destination)
- 端末時刻設定 (Terminal Time Setting)
- システム設定 (syscnfg.ini) 設定値については第4章に記載 (System Settings (syscnfg.ini) Setting values are described in Chapter 4)
- 電話番号設定 (phone.ini) 実際に有効な電話番号設定内容を確認できます (You can confirm the actual valid phone number settings)
- アクション設定 (action.ini) (Action Settings)
- 使用しているソフトウェアライセンスの表示 (Display of the software license being used)

Bottom Label:

- 設定変更ボタン (Change Settings Button)

設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ずクリックし、設定を反映させてください。

設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。

①	ログ確認	»
②	バックアップファイル作成	»
③	ファイル送信／ バックアップファイル復元	»
④	PING実行	»
⑤	ログイン用パスワード変更	»
⑥	工場出荷時設定	»
⑦	端末再起動	»

- ① ……現在の端末内部ログを取得(表示)します。
 - ・動作ログ(mlog):基本動作を記録したログです。
 - ・通信ログ(cchlog):呼制御動作を記録したログです。
 - ・解析ログ(elog):詳細動作を記録したログです(メーカー調査用)。
- ② ……設定ファイルやログをパソコンに保存します。
 設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存を推奨します。
 保存されたファイルは「.tgz形式(tar.gz形式)」で圧縮されています。
 (解凍ソフト例:Lhaplus)
 ※バックアップに少し時間がかかるためご注意ください。Webブラウザのダウンロード表示やダウンロードフォルダにて進捗を確認してください。
- ③ ……パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。
 ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送することができます。
 万一故障してしまい修理に出す場合なども、予めバックアップファイルを保存しておくことで、修理返却後に修理前の設定に戻すことができます。
- ④ ……IPアドレスを入力してpingを実行します。
 IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ ……設定画面ログイン時のパスワードを変更します(設定可能値は P.27 参照)。
- ⑥ ……PBSP403-SIPの工場出荷時設定が記載されています。
 ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックすると、基本設定ファイル(netcnfg.ini)以外の設定が全て工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ ……端末を再起動します。
 (通話中の場合は通話が切断されます)

■設定画面ログイン時のパスワードについて

半角英数字、6 種類の半角記号、合計 5～8 文字で設定可能です。

※英字の大文字、小文字は区別されます

<設定可能値一覧>

1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
！（感嘆符）
#（番号記号）
%（パーセント）
&（アンパサンド）
@（単価記号）
_（アンダーバー）

初期化の方法

本体背面のSW(プッシュスイッチ)を約 10 秒以上長押しすると全LEDが赤速点滅し、自動的に再起動します。再起動後、以下の項目が出荷時設定となります。

端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインすることができます。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の全項目
- admin ユーザのパスワード:admin

再起動後は、ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができますようになります。

<http://192.168.1.24:8084/>

※端末名の工場出荷時設定は端末のシリアルナンバー(SN)です。

※基本設定ファイル(netcnfg.ini)以外の設定を初期化する場合は、設定画面メニュー「工場出荷時設定」ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックしてください。

第4章 設定ファイル一覧

この章では、PBSP403-SIP を設定するための設定ファイルについて説明します。

- 基本設定ファイル (netcnfg.ini)
- システム設定ファイル (syscnfg.ini)
- 電話番号設定ファイル (phone.ini)
- アクション設定ファイル (action.ini)

基本設定ファイル（netcnfg.ini）

主にネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。
 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。
 ※全て半角文字で記述してください。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	PBSP403-SIPのIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 DHCPモードで使用する場合には、 "255.255.255.255"と入力します。 (P.78 参照) ネットマスク: 該当するビット数を選択してください。	IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	IPアドレス: 192.168.1.24 ネットマスク: 24 ビット (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
DNS1	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・DNSサーバを使用しない場合には、設定不要です。 ・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定
DNS2	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・DNSサーバを使用しない場合、またはセカンダリDNSが無い場合には、設定不要です。 ・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
端末名	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 abc-123) 無記述時はシリアルナンバーが表示されます。 例) SN2012345	最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)	シリアルナンバー (SN)が表示されま す
HTTPポート 番号	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。 セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定するか、空欄にしてください。	0～65535	8084
NTPサーバ	NTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・IPアドレスの場合、数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・NTPサーバを使用しない場合には、設定不要です。	IPアドレス (IPv4 のみ) または ドメイン名	未設定

システム設定ファイル (syscnfg.ini)

システムに関する設定ファイルです。
パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。

パラメータ	設定値	!コメント文
		
	半角スペース 1文字分以上	半角スペース 1文字分以上

<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

■全回線共通設定

全回線共通設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CCH	SIPパケットを受信するUDPポート番号を設定します。 (記述例 CCH 5060)	1~65535	5060
DTMFRLY	通話中のDTMFの通信方式を設定します。 0: みなし音声 1: SIP INFOメッセージ 2: RFC2833(RTPイベント) (記述例 DTFMRLY 0)	0 1 2	0
DTMF_TOUT	通話中にDTMF信号を受信した際の桁間タイマーおよびDTMF受信の開始番号と終了番号を設定します。 【記述方法】 DTMF_TOUT <桁間タイマー> <開始番号> <終了番号> <桁間タイマー> -1: DTMF制御無効 0: 桁間タイマーなし DTMF送信側は<開始番号>の後、DTMF番号の入力を開始し、<終了番号>で終了してください。 <開始番号>を入力すると入力待ち音「プ、プ、プ」が聞こえるので、action.iniのDTMF受信設定(P.58)のオプションで指定されたDTMF番号を入力し、最後に<終了番号>を入力します。 入力を間違えた場合、再度<開始番号>を入力すると、最初から入力し直すことができます。 1~10: 指定秒数で桁間タイムアウト DTMFを送信する側では<開始番号>および<終了番号>を使用せずにDTMF番号を入力できます。 「プ、プ、プ」は聞こえません。 番号入力中に設定秒数以上の間隔が空いた場合は最初から入力し直してください。 入力を間違えた場合は設定秒数経過後に最初から入力し直してください。 【注意事項】 - 通話中にDTMF開始番号を検知するとDTMF受信モードになり、その間は音声通話ができなくなります。 "#" や "*" を別の用途で使用している場合はDTMF開始番号に設定しないようご注意ください。 - 終了番号がaction.iniのDTMF番号に含まれないようご注意ください。 (記述例 DTMF_TOUT 0 # #)	桁間タイマー -1~10 単位: 秒 開始番号、 終了番号 0~9 " # " " * " 1 桁のみ	-1

全回線共通設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
ECE	エコーキャンセラの有無を設定します。 ON: エコーキャンセラを有効にする OFF: エコーキャンセラを無効にする 通常はONでご使用ください。 (記述例 ECE ON)	ON OFF	ON
EMSGID	アクション設定ファイルで使用される「TID (Terminal ID)」の値を設定します。 TIDとは、端末固有のIDのことです。 (記述例 EMSGID PBSP403-SIP)	半角英数字 15 文字まで	PBSP403-SIP
HOLD_MODE	保留時の動作モードを設定します。 0: IP回線からの受信音を再生する 1: 内部のWAVファイル(hold.wav)を再生する ※hold.wavは別途インストールする必要があります。 【WAVファイルの作成条件】 ファイル名: "hold.wav" 形式: 8kHz, モノラル, μ-law サイズ: 端末 1 台に取り込むWAVファイルは 合計 4MBまで (記述例 HOLD_MODE 0)	0 1	0
MIN_SE	着信時に許容するSession-Expiresの最低値(キープアライブの間隔の最小値)を設定します。 この値を下回るSession-Expiresの値を受信した場合、エラーを返します。 (関連パラメータ: SE_EXPIRES) (記述例 MIN_SE 300)	90~86400	300
PROXY1	REGISTERリクエスト以外のSIPメッセージを送信するプロキシサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ドメイン名で設定する場合は、基本設定ファイル(netcnfg.ini)でDNSサーバの設定が必要です。 (記述例 PROXY1 192.168.1.5)	IPv4 アドレス または ドメイン名	192.168.1.5
PROXY1_PORT	REGISTERリクエスト以外のSIPメッセージを送信するプロキシサーバのポート番号を設定します。 (記述例 PROXY1_PORT 5060)	1~65535	5060
RB_TIMER	発信先の相手が応答しない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。 (記述例 RB_TIMER 120)	1~86400 単位: 秒	120

全回線共通設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
REGISTER1	REGISTERリクエストを送信するレジストラサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ドメイン名で設定する場合は、基本設定ファイル (netcnfg.ini) でDNSサーバの設定が必要です。 (記述例 REGISTER1 192.168.1.5)	IPv4 アドレス または ドメイン名	192.168.1.5
REGISTER1_PORT	REGISTERリクエストを送信するレジストラサーバのポート番号を設定します。 (記述例 REGISTER1_PORT 5060)	1～65535	5060
REGI_EXPIRES	レジストラサーバ登録の有効期限 (REGISTERリクエストに含まれるExpiresの値) を設定します。 (記述例 REGI_EXPIRES 3600)	10～86400 単位: 秒	3600
REGI_RETRY	REGISTERリクエストがタイムアウトして失敗した場合、次のREGISTERリクエストを送信するまでの時間を設定します。 (記述例 REGI_RETRY 120)	5～86400 単位: 秒	120
RG_TIMER	着信時にSP401-SIPが応答しない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。 (記述例 RG_TIMER 120)	1～86400 単位: 秒	120
RTP_PORT	音声パケット (RTPパケット) のポート番号を設定します。 設定値から偶数値で計 16 ポートが使用されます。 (記述例 RTP_PORT 40000) 使用ポート番号 40000～40030 のうち偶数値	2～65534 偶数値	40000
SE_EXPIRES	通話中に何らかの原因でネットワークが切断された時に相手を確認する周期 (INVITEリクエストに含まれるSession-Expiresの値) を設定します。 (記述例 SE_EXPIRES 300)	90～86400 単位: 秒	300

■TEL回線設定

TEL回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
AUTH_NAME1	SIPサーバで認証をかけている場合のTEL回線の認証用ユーザ名を設定します。 ※SIPサーバによっては、PHONE1 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合もあります。 (記述例 AUTH_NAME1 1937241)	半角英数字 32 文字まで	1937241
AUTH_PASS1	SIPサーバで認証をかけている場合のTEL回線の認証用パスワードを設定します。 (記述例 AUTH_PASS1 1937241)	半角英数字 32 文字まで	1937241
AUTODIAL1	「TEL」に接続された電話機等をオフフックしたら電話番号を入力しなくても自動的に発信する機能です。設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定します。 (記述例 AUTODIAL1 100) 電話機をオフフックすると電話番号「100」へ自動発信します。	電話番号 " # " " * " 23 桁まで	未設定
CODER1	TEL回線の音声圧縮方式(コーデック)を設定します。 1: G.711 (64kbps圧縮) 17: G.729A (8kbps圧縮) ※G.729Aに設定すると、データが小さくなり帯域を節約できますが、低音質になります。 (記述例 CODER1 1)	1 17	1
DIDMODE	「TEL」に接続された機器への呼出方法を設定します。 0: 通常呼出モード(アナログ電話機接続等) 1: 簡易DIDモード(電話交換機接続等) 2: NTTダイヤルインモード(電話交換機接続等) 3: ナンバーディスプレイモード (ナンバーディスプレイ対応電話機等) ※SIP環境によっては対応できない可能性があります。 ※交換機(PBX)に接続する場合はP.76 参照 (記述例 DIDMODE 0)	0 1 2 3	0

TEL回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
FAX_RELAY1	TEL回線のFAX通信のモードを設定します。 0: みなし音声でFAX通信を行う 1: T.38 でFAX通信を行う (記述例 FAX_RELAY1 0)	0 1	0
LEVEL_MODE1	TEL回線の通話中に、各種制御用の音声を検出する回線を設定します。 0: IP回線からの音声を検出 1: 電話回線からの音声を検出 ※みなし音声のDTMFによる接点制御を行いたい場合は 0 に設定してください。 (P.58 参照) (記述例 LEVEL_MODE1 1)	0 1	1
PHONE1	TEL回線の電話番号を設定します。 SIPサーバへ通知する番号となります。 設定しないと通話できません。 ※TEL回線を使用しない場合はパラメータの行頭に「!」を記述(コメントアウト)してください。 ※交換機(PBX)に接続する場合はP.76 参照 (記述例 PHONE1 1937241)	半角英数字 32 文字まで	1937241
RVS_BT	着信側の終話時に、転極パルスを送出する設定をします。 ON: 転極パルスを送出する OFF: 転極パルスを送出しない 通常は、ONでご使用ください。 (記述例 RVS_BT ON)	ON OFF	ON
RVS_CON	発信側の通話時に、極性反転を行う設定をします。 ON: 極性反転を行う OFF: 極性反転を行わない 通常は、ONでご使用ください。 (記述例 RVS_CON ON)	ON OFF	ON
RVS_PW	着信側の終話時に、送出手転極パルス幅を設定します。 (関連パラメータ: RVS_BT ON)に設定している場合に有効になります。 (記述例 RVS_PW 750)	400～800 単位:ミリ秒	750

TEL回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
VOL_IN1	「TEL」の入力レベルを設定します。 -32(ミュート) ～ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_IN1 0)	-32～31 単位: dB	0
VOL_OUT1	「TEL」の出力レベルを設定します。 -32(ミュート) ～ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_OUT1 0)	-32～31 単位: dB	0

■SP回線設定

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
AUTH_NAME2	SIPサーバで認証をかけている場合のSP回線の認証用ユーザ名を設定します。 ※SIPサーバによっては、PHONE2 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合もあります。 (記述例 AUTH_NAME2 1937242)	半角英数字 32 文字まで	1937242
AUTH_PASS2	SIPサーバで認証をかけている場合のSP回線の認証用パスワードを設定します。 (記述例 AUTH_PASS2 1937242)	半角英数字 32 文字まで	1937242
AUTO_DIAL	AUTO_SETUPによる自動発信の発信先電話番号を指定します。 別途AUTO_SETUPの設定が必要です。 (記述例 AUTO_DIAL 100) ※起動すると電話番号「100」へ自動発信します。 複数行設定することで、再発信時の発信先を変更することができます。 ※全部で5件まで設定可 (関連パラメータ: RTY_SETUP) (記述例) AUTO_DIAL 100 AUTO_DIAL 200 AUTO_DIAL 300 ※P.64参照	23 桁までの電話番号 0～9 " # " " * "	未設定
AUTO_SETUP	PBSP403-SIP起動時の自動発信の有無を設定、および有効の場合は切断後に自動で再発信を行うまでの間隔を設定します。 別途AUTO_DIALの設定が必要です。 ※CIN_SETUPの設定を確認してください。 CIN_SETUPの設定値が0(NONE)以外の場合、本機能は有効になりません。 ※本機能有効の場合、PBSP403-SIP側から切断することはできません。 (記述例 AUTO_SETUP 10)	0～60 0:本機能無効 単位:秒	0

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
BTN1_MODE	ボタンAが押された時の動作を設定します。 【設定値】 NONE : 無効(使用不可にするモード) SPSETUP : ボタンを押して発信し、 スピーカとマイクで通話するモード ※着信時はSPSETUPまたはSPHOOK を設定したボタンのうちの一つが 点滅します (点滅優先順位:A→B→C) ※着信中にボタンを押すと応答し、 再度押すと切断します TIMEPLAY : ボタンを押すと現在の時刻が再生される モード SPMUTE : ボタンを押すと内蔵スピーカがミュート されるモード ※ミュート中はボタンが遅点滅します SPSHOOK : ボタンONで発信、ボタンOFFで切断する モード(MSIG) ※着信中はボタンONで応答、 ボタンOFFで切断 ※現在の時刻を再生するモードに設定した場合、時刻 を設定する必要があります。 パソコンの時刻に合わせるか、基本設定ファイル (netcnfg.ini)にてNTPサーバを設定してください。 (記述例 BTN1_MODE SPSETUP)	NONE SPSETUP TIMEPLAY SPMUTE SPSHOOK	SPSETUP
BTN2_MODE	ボタンBが押された時の動作を設定します。 【設定値】 BTN1_MODEと同様 (記述例 BTN2_MODE SPSETUP)	BTN1_MODE と同様	NONE
BTN3_MODE	ボタンCが押された時の動作を設定します。 【設定値】 BTN1_MODEと同様 (記述例 BTN3_MODE SPSETUP)	BTN1_MODE と同様	TIMEPLAY

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
BT_SET	放送終了時にWAVファイルを再生することができます。 本パラメータでは、放送終了（終話）から待機状態になるまでの時間や、WAVファイル(bt.wav)の再生回数を設定します。 【記述方法】 BT_SET <待機状態になるまでの時間> [bt.wav再生回数] 【設定例】 工場出荷時 終話するとbt.wavが1回再生され、待機状態になります。 BT_SET 0 1 ※工場出荷時のbt.wavはチャイム音「ピンポンパンボン(下がる)」です。変更したい場合はWAVファイルを別途用意のうえインストールしてください。 例1 終話音を鳴らさずに、即、待機状態にする場合 BT_SET 0 例2 内蔵ビジートーンを3秒間再生して待機状態にする場合 BT_SET 3 【WAVファイルの作成条件】 ファイル名: "bt.wav" 形式: 8kHz, モノラル, μ-law サイズ: 端末1台に取り込むWAVファイルは合計4MBまで	待機状態になるまでの時間: 0~60 (単位: 秒) bt.wav 再生回数: 0~30	0 1 (WAVファイルを1回再生)

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CIN1_DIAL	CIN1_SETUPによる接点入力発信の発信先電話番号を指定します。 別途CIN1_SETUPの設定が必要です。 (記述例 CIN1_DIAL 100) ※接点を入力すると電話番号「100」へ自動発信します。 複数行設定することで、再発信時の発信先を変更することができます。 ※全部で 5 件まで設定可 (関連パラメータ: RTY_SETUP) (記述例) CIN1_DIAL 100 CIN1_DIAL 200 CIN1_DIAL 300 ※P.64 参照	23 桁までの電話番号 0~9 " # " " * "	未設定
CIN1_SETUP	「C.IN」1 ポート目の接点入力の動作モードを設定します。 0: 入力無効(NONE) 1: 入力ONのたびに発信(または応答)、切断を交互に行う(TOGGLE) 2: 入力ON時に発信(または応答)、入力OFF時に切断を行う(MSIG) ※本パラメータがNONE以外の場合、AUTO_SETUPは無効になります。 ※TOGGLE、MSIG設定時の着信時は、CT_SETで設定した時間経過後の自動応答と入力ONによる手動応答を併用可能です。自動応答を無効にしたい場合は、CT_SETに-1を設定してください。 ※通話相手のオンフック検出時は、本パラメータの設定値にかかわらず自動切断します。 (関連パラメータ: AUTO_SETUP、CT_SET) (記述例 CIN1_SETUP 1)	0 1 2	0

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CIN2_DIAL	CIN2_SETUPによる接点入力発信の発信先電話番号を指定します。 別途CIN2_SETUPの設定が必要です。 (記述例 CIN2_DIAL 100) ※接点を入力すると電話番号「100」へ自動発信します。 複数行設定することで、再発信時の発信先を変更することができます。 ※全部で 5 件まで設定可 (関連パラメータ: RTY_SETUP) (記述例) CIN2_DIAL 100 CIN2_DIAL 200 CIN2_DIAL 300 ※P.64 参照	23 桁までの電話番号 0～9 " # " " * "	未設定
CIN2_SETUP	「C.IN」2 ポート目の接点入力の動作モードを設定します。 0: 入力無効(NONE) 1: 入力ONのたびに発信(または応答)、切断を交互に行う(TOGGLE) 2: 入力ON時に発信(または応答)、入力OFF時に切断を行う(MSIG) ※本パラメータがNONE以外の場合、AUTO_SETUPは無効になります。 ※TOGGLE、MSIG設定時の着信時は、CT_SETで設定した時間経過後の自動応答と入力ONによる手動応答を併用可能です。自動応答を無効にしたい場合は、CT_SETに-1 を設定してください。 ※通話相手のオンフック検出時は、本パラメータの設定値にかかわらず自動切断します。 (関連パラメータ: AUTO_SETUP、CT_SET) (記述例 CIN2_SETUP 1)	0 1 2	0

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CODER2	放送(SP)回線の音声圧縮方式(コーデック)を設定します。 1: G.711 (64kbps圧縮) 17: G.729A (8kbps圧縮) ※G.729Aに設定すると、データが小さくなり帯域を節約できますが、低音質になります。 (記述例 CODER2 1)	1 17	1
CT_DELAY	CT_SETによるWAVファイルまたはリングバックトーンの再生タイミングの遅延設定をします。 放送機器に接続する場合等、放送機器の起動時間分遅延させることで放送の頭切れを防ぐことができます。 ※CT_SETを 0 に設定している場合は、本パラメータの設定秒数分遅延した後、WAVファイルやリングバックトーンを再生せずに即通話状態になります。 (記述例 CT_DELAY 1000)	0~10000 単位:ミリ秒	0
CT_MODE	放送開始時にアナログ側へ再生する着信音(呼出音)を、放送元に対しても再生することができます。 0: 着信音はアナログ側へのみ再生する 1: 着信音を放送元に対しても再生する (記述例 CT_MODE 1)	0 1	1

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CT_SET	放送開始時にWAVファイルを再生することができます。 本パラメータでは、放送開始(着信)から通話状態になるまでの時間や、WAVファイル(ct.wav)の再生回数を設定します。 【記述方法】 CT_SET <通話状態になるまでの時間> [ct.wav再生回数] 【設定例】 ■工場出荷時 着信するとct.wavが1回再生され、通話状態になります。 CT_SET 0 1 ※工場出荷時のct.wavはチャイム音「ピンポンパン(上がる)」です。変更したい場合はWAVファイルを別途用意のうえインストールしてください。 ■例1 着信音(呼出音)を鳴らせずに、即、通話状態にする場合 CT_SET 0 ■例2 内蔵リングバックトーンを3秒間再生して通話状態にする場合 CT_SET 3 ■例3 自動応答をせず、内蔵リングバックトーンを再生し続ける場合 CT_SET -1 ■例4 自動応答をせず、ct.wavを再生し続ける場合 CT_SET -1 -1 ※CT_MODEを0に設定してください。 【WAVファイルの作成条件】 ファイル名: "ct.wav" 形式: 8kHz, モノラル, μ-law サイズ: 端末1台に取り込むWAVファイルは合計4MBまで	通話状態になるまでの時間: -1~60 (単位: 秒) ct.wav 再生回数: -1~30	0 1 (WAVファイルを1回再生)

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
INPUT_TYPE	「L.IN」の音声入力の種別を設定します。 接続機器の種別や仕様にしたがって、必ず適切な設定をしてください。誤った設定は故障の原因となりますのでご注意ください。 0: LINE入力(マイク給電OFF) 1: ページングマイク(LdV-PM660W)(マイク給電ON) 2: コンデンサマイク(マイク給電OFF) 3: コンデンサマイク(マイク給電ON) 4: ダイナミックマイク(マイク給電OFF) 5: ダイナミックマイク(マイク給電ON) ※ページングマイクLdV-PM660Wを接続する場合は、VOL_IN2を-5程度に設定することを推奨します。 ※「マイク給電」とはファンタム電源のことです。 ※一般的にコンデンサマイクは給電が必要なものが多く、ダイナミックマイクは給電が不要なものが多いですが、念のためマイクの仕様を確認してください。 (記述例 INPUT_TYPE 1)	0 1 2 3 4 5	0
LEVEL_MODE2	SP回線の通話中に、各種制御用の音声を検出する回線を設定します。 0: IP回線からの音声を検出 1: 電話回線からの音声を検出 ※みなし音声のDTMFによる接点制御を行いたい場合は0に設定してください。 (P.58 参照) (記述例 LEVEL_MODE2 0)	0 1	0
LOUT_MODE	「L.OUT」の音声出力動作の設定をします。 0: 内蔵スピーカと同じ音声出力 1: 待機中の再生音(音量ボタンの音や録音再生等)は出力しない (記述例 LOUT_MODE 1)	0 1	1
PHONE2	SP回線の電話番号を設定します。 SIPサーバへ通知する番号となります。設定しないと通話できません。 ※SP回線を使用しない場合はパラメータの行頭に「!」を記述(コメントアウト)してください。 (記述例 PHONE2 1937242)	半角英数字 32 文字まで	1937242

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
RTY_SETUP	発信した際に発信先が話中(ビジー)だった場合の再発信の回数と間隔を設定します。 【記述方法】 RTY_SETUP <回数> <間隔> [オプション] <回数> 再発信の回数を設定します。 設定可能値: -1~100 0: 再発信しない(rbtc.wavの再生も行わない) -1: AUTO_DIAL、CIN1_DIAL、CIN2_DIALの 設定件数分再発信 <間隔> 再発信の間隔を設定します。 設定可能値: 0~3600 単位: 秒 [オプション] <回数>が-1 の場合の繰り返しの回数を設定します。 設定可能値: -1~100 省略、0、1: 一巡のみ -1: 繰り返し回数は無限 ※CIN1_SETUP、CIN2_SETUPでMSIGが設定されている場合、再発信中も接点入力をONにし続ける必要があります。 ※再発信が行われる際はrbtc.wavが再生されますが、出荷時はインストールされていないので無音となります。再生したい場合は別途作成してインストールする必要があります。 【WAVファイルの作成条件】 ファイル名: " rbtc.wav" 形式: 8kHz, モノラル, μ-law サイズ: 端末 1 台に取り込むWAVファイルは 合計 4MBまで (関連パラメータ: AUTO_DIAL、CIN1_DIAL、 CIN2_DIAL) (記述例 RTY_SETUP 3 5)	左記参照	0 0

SP回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
VOL_IN2	「L.IN」の入力レベルを設定します。 -32(ミュート) ～ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 ※ページングマイクLdV-PM660Wを接続する場合は、 -5 程度に設定することを推奨します。 (記述例 VOL_IN2 0)	-32～31 単位: dB	0
VOL_OUT2	「L.OUT」および内蔵スピーカの出力レベルを設定します。 -32(ミュート) ～ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_OUT2 0)	-32～31 単位: dB	0

■PSTN回線設定

PSTN回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
AD_MODE	IP回線への自動発信設定(AUTODIAL3)の場合、アナログ回線からの着信時に、アナログ回線をオフフックするかどうかを設定します。 0: オフフックをしないで発信処理を行う IP回線側の発信先相手が見つからない場合、オンフック(切断)することができない。 1: オフフックをして発信処理を行う IP回線側の発信先相手が見つからない場合でも、オンフック(切断)することができる。 ※公衆回線接続時には、意図しない課金が発生する場合があります。 ※付録に詳しい説明図を記載しています。 (関連パラメータ: AUTODIAL3) (記述例 AD_MODE 0)	0 1	0
AUTH_NAME3	SIPサーバで認証をかけている場合のPSTN回線の認証用ユーザ名を設定します。 ※SIPサーバによっては、PHONE3 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合もあります。 (記述例 AUTH_NAME3 1937243)	半角英数字 32 文字まで	1937243
AUTH_PASS3	SIPサーバで認証をかけている場合のPSTN回線の認証用パスワードを設定します。 (記述例 AUTH_PASS3 1937243)	半角英数字 32 文字まで	1937243
AUTODIAL3	PSTN回線がアナログ側から着信したら電話番号を入力しなくても自動的に発信する機能です。 設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定します。 (記述例 AUTODIAL3 100) 着信すると電話番号「100」へ自動発信します。	23 桁までの電話番号 0~9 " # " " * "	未設定
CODER3	PSTN回線の音声圧縮方式(コーデック)を設定します。 1: G.711 (64kbps圧縮) 17: G.729A (8kbps圧縮) ※G.729Aに設定すると、データが小さくなり帯域を節約できますが、低音質になります。 (記述例 CODER3 1)	1 17	1

PSTN回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CTRING	PSTN回線アナログ着信時の呼出信号の判定方法を設定します。 ナンバーディスプレイや呼出信号を検出した際、呼出信号のパターンによって着信動作を行います。 NTTパターン: IR信号 1 秒鳴動、2 秒休みの繰り返し それ以外: SIR信号 0.25 秒鳴動、0.25 秒休みの繰り返し(交換機単独電話回線など) 2~5: NTTパターン; オフフックまでの呼出信号のカウント数を指定 ※ナンバーディスプレイ使用不使用によらない 1: NTTパターン以外の呼出信号かつ ナンバーディスプレイ使用 0: NTTパターン以外の呼出信号 -1: NTTパターン以外の呼出信号かつ ナンバーディスプレイ使用 ※設定値 1 で動作しない場合 (記述例 CTRING 0)	2~5 1 0 -1	0
DEBTCT	TA等の仕様によって終話時に極性反転しない場合、PBSP403-SIPが終話と判定するためのビジートーン検出回数を設定します。 接続されている機器から極性反転が出力されない場合、ビジートーン検出回数が設定値を超えると、終話と判定します。 ※設定値が 0 の場合はビジートーン検出を行いません。そのため、場合によっては終話判定ができなくなり、通話状態をいつまでも保持する持ちきり状態になってしまう可能性があります。その場合はPBSP403-SIPを再起動してください。 ※一斉放送を行っている場合、放送にビジートーンが流れる可能性がありますので、予めご了承ください。 ※ビジートーンが設定した値より多く聞こえる場合があります。 (記述例 DEBTCT 5)	0~30 単位: 回	5
DIALSELECT	「PSTN」に接続されたTA等のアナログ回線への送出選択信号種別を指定します。 ※交換機・TA等の設定によります。 0: PB (DTMF) 信号 1: DP 信号 10pps 2: DP 信号 20pps (記述例 DIALSELECT 0)	0 1 2	0

PSTN回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
DTTO	ダイヤルトーンが検出できない場合に番号の自動送出を開始するまでの時間を設定します。 ※ダイヤルトーンが検出できない場合でも、ある程度時間が経ったら番号を自動送出するようになっていきます。 ※公衆回線に接続する場合は 3 以上の値を設定してください(省令により定められています)。 (記述例 DTTO 3)	0~10 単位: 秒	3
EN_REDIAL	公衆回線への再発信制限の有無を設定します。 公衆回線に接続する場合は 1 を設定してください。(省令により定められています) 有効にすると、1 回目の発信から 3 分以内に 3 回以上再発信された場合に、3 回目以降は発信しません。 0: 再発信制限を無効にする 1: 再発信制限を有効にする (記述例 EN_REDIAL 0)	0 1	0
FAX_RELAY3	FAX通信のモードを設定します。 0: みなし音声でFAX通信を行う 1: T.38 でFAX通信を行う (記述例 FAX_RELAY3 0)	0 1	0
LEVEL_MODE3	PSTN回線の通話中に、各種制御用の音声を検出する回線を設定します。 0: IP回線からの音声を検出 1: 電話回線からの音声を検出 ※みなし音声のDTMFによる接点制御を行いたい場合は 0 に設定してください。 (P.58 参照) ただし、ビジートーンの検出はできなくなります。 (記述例 LEVEL_MODE3 1)	0 1	1

PSTN回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
PHONE3	PSTN回線の電話番号を設定します。 SIPサーバへ通知する番号となります。 設定しないと通話できません。 ※PSTN回線を使用しない場合はパラメータの行頭に「!」を記述(コメントアウト)してください。 【記述方法】 [PSTN回線の電話番号]/ ※PSTN回線の電話番号を"[]"(角かっこ)でくくり、後ろに"/"(スラッシュ)をつける 【記述例】 PHONE3 [193743]/ 【記述例の動作】 100 から始まる電話番号がダイヤルされると全てPSTN回線に着信し、100 を省略した番号を交換機へ送出 例) 10010 がダイヤルされる → PSTN回線に着信 → 10 を交換機へ送出 【交換機側でダイヤルポーズが必要な場合】 “P”を“<>”(山かっこ)でくくって任意の位置に挿入することで、交換機へ番号を送出する際にポーズを入れることが可能です。 “P”ひとつで約 1 秒間ポーズします。 (記述例) PHONE3 [100]<PP>/ → 10010 がダイヤルされるとPSTN回線に着信後に約 2 秒間ポーズしてから 10 を交換機へ送出	半角英数字 "[]"(角かっこ) "/"(スラッシュ) "<>”(山かっこ) 32 文字まで	[1937243]/
RCTTONE3	PSTN回線アナログ着信時に、選択信号を受け付けていることを示す音を設定します。 0: 無音 1: ダイヤルトーン 2: セカンドダイヤルトーン(400Hzのツツツツ音) (記述例 RCTTONE3 2)	0 1 2	2
REGISTER1_PORT3	PSTN回線のみレジスタを行いたくない場合に設定します。 設定値は 0 のみの固定値です。 (記述例 REGISTER1_PORT3 0)	0	未設定
SEND_CONN3	着信時のSIP応答信号の種類を設定します。 1: 200 応答を返す 2: 180 応答を返す 3: 183withSDP応答を返す (記述例 SEND_CONN3 1)	1 2 3	1

PSTN回線設定			
パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
TMDETRVS	公衆回線への発信時に転極が検出できない場合に切断するまでのタイムアウト時間を設定します。 公衆回線に接続する場合は 120 に設定してください。 (省令により定められています) 0: タイムアウトしない (記述例 TMDETRVS 120)	0~120 単位: 秒	0
VOL_IN3	「PSTN」の入力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_IN3 0)	-32~31 単位: dB	0
VOL_OUT3	「PSTN」の出力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_OUT3 0)	-32~31 単位: dB	0

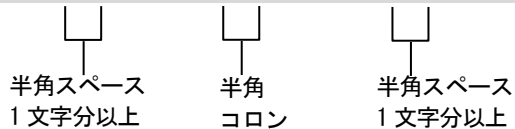
電話番号設定ファイル (phone.ini)

PBSP403-SIP に登録する発信先電話番号帳です。

操作ボタンや接点入力による発信を行う場合に設定します。

記述方法と編集ルールは以下の通りです。

電話番号 IP アドレス:ポート番号 !コメント文



<編集ルール>

- 発信先の電話番号、IP アドレスとポート番号を記述します。
- 任意の数字および「#」「*」(最大 23 桁)により、電話番号を設定できます。
ただし syscnfg.ini のパラメータ DELIM が ON に設定されている場合は、「#」が入力終了文字として扱われ意図した相手に発信できないため注意してください。
- 操作ボタンによる発信時は、電話番号を[発信先セクタ・ボタン]<発信先番号>の形式で記述します(次頁の記述例参照)。
- IP アドレス、ポート番号の部分は「SERVER」と記述することで、システム設定ファイル(syscnfg.ini)の「PROXY1」「PROXY1_PORT」に設定した SIP サーバへ発信します。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は必ず 1 行で記述してください。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 電話番号が重複して登録されていた場合、上位に記述されている番号が優先されます。

設定値の後にメモやコメントをつけることができます。

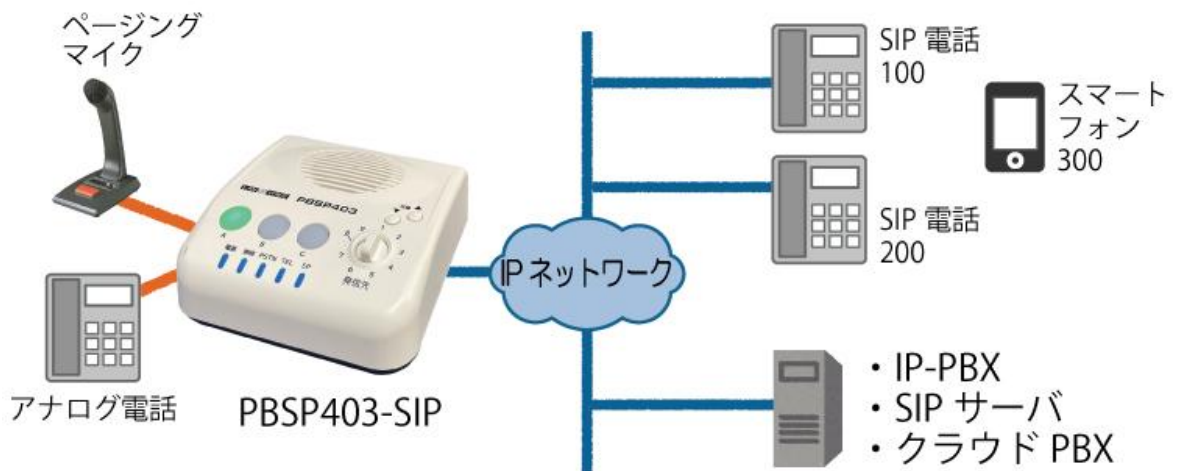
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。

また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

<発信先セレクトとボタンの組み合わせによる発信時の電話番号記述方法>

		発信先セレクト								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
ボタン	A	[S11]	[S21]	[S31]	[S41]	[S51]	[S61]	[S71]	[S81]	[S91]
	B	[S12]	[S22]	[S32]	[S42]	[S52]	[S62]	[S72]	[S82]	[S92]
	C	[S13]	[S23]	[S33]	[S43]	[S53]	[S63]	[S73]	[S83]	[S93]

<記述例>



100 SERVER	! 100 番で SIP サーバへ発信
[S11]<200> SERVER	! 発信先セレクト 1×ボタン A により、200 番で SIP サーバへ発信
[S93]<300> SERVER	! 発信先セレクト 9×ボタン C により、300 番で SIP サーバへ発信

【解説】

- 1 行目…TEL ポートに接続した電話機で 100 番をダイヤルした時や、syscnfg.ini のパラメータ CIN1_DIAL、CIN2_DIAL で 100 番を割り当てたポートに接点を入力した時などに、SIP サーバ経由で 100 番の SIP 電話機へ発信します。
- 2 行目…発信先セレクトを 1 に合わせた状態でボタン A を押すと、SIP サーバ経由で 200 番の SIP 電話機へ発信します。
- 3 行目…発信先セレクトを 9 に合わせた状態でボタン C を押すと、SIP サーバ経由で 300 番のスマートフォンへ発信します。

■便利な電話番号登録と記述方法

PBSP403-SIP 発信先拠点に PBX がある場合など、電話番号設定ファイルに以下のような設定をすると便利です。

① 省略 []	
[] で囲まれた番号はダイヤルされた電話番号との一致を比較する際には利用されますが、着信側 LANdeVOICE からダイヤルを送出する時 (PBX や NTT ダイヤルイン など) には省略されます。	
例: [0312]34	発信者が「031234」とダイヤルすると「[]」で囲まれた部分が省略されて「34」を着信側の LANdeVOICE から接続されている機器へ送じます。
② 追加 < >	
< > で囲まれた部分は DID 通知時に追加されます。電話番号の一致を検索する際には、追加番号の内容は無視されます。	
例: <0>312345678	発信者が「312345678」とダイヤルすると「< >」で囲まれた部分が追加されて、0312345678 を着信側の LANdeVOICE より送じます。
③ 任意の 1 桁 ?	
? は任意の番号として一致を比較します。	
例: 03123456??	03123456XX とダイヤルされた電話番号は全て該当すると判断します。
例: ???	3 桁の任意の番号が一致します。 「???」より上部に「??」の記述があると、先に??の 2 桁に該当して 2 桁で発信します。この場合は、3?? などにとすると、3 から始まる 3 桁になります。
④ 任意の桁 /	
/ は以降の入力を全て有効にします。	
例: 03/	桁数の一致、「03」までの入力で該当と判断し、以降 4 秒のタイムアウトまで入力を受け入れます。# (デリミタ) を使うことによりタイムアウトを待たなくても発信させることが可能です。(デリミタはパラメータで ON/OFF 可能です。)
⑤ ポーズ追加 P	
簡易 DID 発信等を利用して、接続先の LANdeVOICE から PBX へ発信する場合にダイヤルポーズを追加することが可能です。P ひとつで約 1 秒のダイヤルポーズを行います。	
例: <0PP>0312345678 (②との併用例)	0312345678 とダイヤルすると、先頭に「0PP」を追加して接続先の LANdeVOICE へ通知します。DID 通知では 0 をダイヤルした後に 2 秒間ポーズし、残りの番号をダイヤルします
⑥ 上記①～⑤の機能は複合させることも可能です。	
[031234]/	031234 で確定し、残りの入力を DID 通知します。
031234[5]<6>7??	03123457XX の下 4 桁を「67XX」に変更して DID 通知します。

アクション設定ファイル (action.ini)

端末の状態により接点を動作(ON/OFF)させることができます。

記述例



接点出力部指定

COUT1、COUT2 の順に記述してください。順番を変えて設定すると、正常に動作しない場合があります。

記述名	説明	出荷時設定
[COUT1]	C.OUT1 接点出力動作を指定します。 接点出力 1 に関する設定を[COUT1]の下に記述してください。 ※必ず記述してください。	[COUT1]
[COUT2]	C.OUT2 接点出力動作を指定します。 接点出力 2 に関する設定を[COUT2]の下に記述してください。 ※必ず記述してください。	[COUT2]

動作モード説明

動作モード	説明
ON	接点をON(ショート)します。
OFF	接点をOFF(解放)します。
SB	スローブリンク。ゆっくりしたON/OFF。 1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
FB	ファーストブリンク。速いON/OFF。 0.1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
OS [パルス幅]	ワンショット。接点をn mSec ON(ショート)します。 パルス幅の単位はミリ秒 100 ミリ秒から 60000 ミリ秒(1 分)まで設定可能 デフォルト値は 100ms

動作モード設定およびイベントメッセージ

※オプションを指定する場合、TID(syscnfg.iniに設定したEMSGID)を必ず記述してください。

動作モード	イベントメッセージ	接点出力動作
ON OFF SB FB OS	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) STARTUP"	起動完了時
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) SETUP [TID] [オプション]" (記述例) "LDVEVN_SP2 SETUP PBSP403-SIP 100"	IP回線への発信開始時 オプションに発信先の電話番号を記述すると、その電話番号への発信開始時にのみCOUT1(2)を動作させることが可能。
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) CONNECTED"	IP回線通話開始時
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) IDLE"	待機状態
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) BUSY"	IP回線の通話が相手側から切断された時 または発信が不通だった時
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) RINGING [TID] [オプション]" (記述例) "LDVEVN_SP2 RINGING PBSP403-SIP 200"	IP回線からの着信時 オプションに発信元の電話番号を記述すると、その電話番号からの着信時にのみCOUT1(2)を動作させることが可能。
	"LDVEVN_PB1(SP2/PT3) DTMF [TID] [オプション]" (記述例) "LDVEVN_SP2 DTMF PBSP403-SIP 123"	通話中のIP回線からのDTMF信号受信時 オプションに「DTMF番号(0~9)」を記入します。 ※本設定はDTMFを受信する端末に設定します。 DTMF送信側の操作方法等についてはsyscnfg.iniのパラメータDTMF_TOUT(P.33)を参照してください。 ※PBSP403-SIPはDTMF検出方法として、 みなし音声 / SIPのINFOメッセージ / RFC2833 に対応していますが、DTMF信号を送信する 機種や環境によっては、DTMFを検出できない 可能性があります。
	"LDVEVN_NT1 LINKDOWN"	ネットワークリンクダウン時
	"LDVEVN_NT1 LINKUP"	ネットワークリンクアップ時
	"LDVEVN_NT1 OFFLINE"	全回線がSIPサーバへレジストできていない状態 ※ONLINEとセットで設定してください
	"LDVEVN_NT1 ONLINE"	いずれかの回線がSIPサーバへレジストできている状態 ※OFFLINEとセットで設定してください

設定例

	動作	記述例
1	SP回線の通話中にC.OUT1 を ON、終話時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_SP2 CONNECTED" OFF "LDVEVN_SP2 IDLE"
2	SP回線着信時にC.OUT2 を速い ON/OFF、通話開始したらOFF。	[COUT2] FB "LDVEVN_SP2 RINGING" OFF "LDVEVN_SP2 CONNECTED"
3	電話番号 100 からSP回線への着信時にC.OUT2 をワンショット(2 秒間ON)する。2 秒経過後、OFF。	[COUT2] OS 2000 "LDVEVN_SP2 RINGING PBSP403-SIP 100"
4	SP回線の通話中にC.OUT1 を ON。終話時にOFF。 相手からのDTMF信号(123)で、C.OUT2 をON。 DTMF信号(456)でC.OUT2 を OFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_SP2 CONNECTED" OFF "LDVEVN_SP2 IDLE" [COUT2] ON "LDVEVN_SP2 DTMF PBSP403-SIP 123" OFF "LDVEVN_SP2 DTMF PBSP403-SIP 456"
5	SP回線待機中にC.OUT1 をON。	[COUT1] ON "LDVEVN_SP2 IDLE"
6	SP回線の発信時はC.OUT1 を ON、着信時はC.OUT1 をゆっくり ON/OFF、通話終了時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_SP2 SETUP" SB "LDVEVN_SP2 RINGING" OFF "LDVEVN_SP2 IDLE"

第5章 使用例

実際に通話を試してみましょう。

- 発信方法
- 発信先セレクト・ボタンによる発信
- 再発信（SP回線）

発信方法

PBSP403-SIPでは、5 種類の方法で発信が可能です。

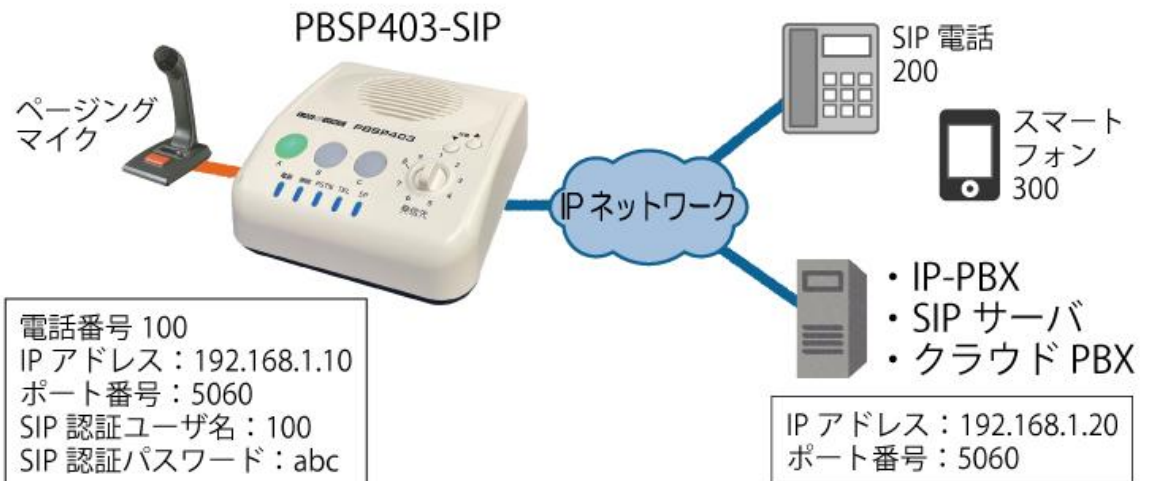
	発信方法	手順
1	発信先セクタ・ ボタンによる発信 【SP回線】	①システム設定ファイル(syscnfg.ini)にて BTN1(2/3)_MODEをSPSETUPに設定します。 ※P.40 参照 ②電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ※P.54、55 参照 ③待機状態のPBSP403-SIPで、発信先セクタの目盛 を合わせ、ボタンA(B/C)を押下すると発信します。 ④“③”のボタンを再度押下すると切断できます。
2	接点入力による 発信 【SP回線】	①システム設定ファイル(syscnfg.ini)にて CIN1(2)_SETUPおよびCIN1(2)_DIALを設定 します。 ※P.43、42 参照 ②電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ③待機状態のPBSP403-SIPに、C.IN1(2) 接続機器より 接点を入力すると発信します。 ④CIN1(2)_SETUPがMSIGの場合、接点を開放すると 切断できます。 ※その他の切断方法についてはsyscnfg.iniの CIN1(2)_SETUPを参照してください。
3	起動時発信 【SP回線】	①システム設定ファイル(syscnfg.ini)にて AUTO_SETUPおよびAUTO_DIALを設定します。 ※P.39 参照 ※AUTODIAL1、AUTODIAL3 とは異なるパラメータの ため、ご注意ください。 ②電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ③PBSP403-SIPに電源を投入し、起動します。 ④起動後、自動的に発信します。 ※PBSP403-SIPからは切断できません。
4	電話機による発信 【TEL回線】	【基本発信】 ①電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ②受話器を上げて番号をダイヤルすると発信します。 【自動発信(ホットライン)】 ①システム設定ファイル(syscnfg.ini)にてAUTODIAL1 を設定します。 ※P.36 参照 ※AUTO_DIAL、AUTODIAL3 とは異なるパラメータの ため、ご注意ください。 ②電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ③受話器を上げると指定先へ自動発信します。

	発信方法	手順
5	公衆回線経由での 発信 【PSTN回線】	【基本発信】 ①電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ②公衆網の電話機から公衆回線番号をダイヤルすると PBSP403-SIPに着信し、トーンが聞こえます。 ③続けて番号をダイヤルすると相手へ発信します。 【自動発信(公衆回線延長等)】 ①システム設定ファイル(syscnfg.ini)にてAUTODIAL3 を設定します。 ※P.49 参照 ※AUTO_DIAL、AUTODIAL1 とは異なるパラメータ のため、ご注意ください。 ②電話番号設定ファイル(phone.ini)を設定します。 ③公衆網の電話機から公衆回線番号をダイヤルすると、 指定先へ自動発信します。

※発信先セレクト・ボタンによる発信と接点入力による発信を同時に有効にすることはできませんが、同時に動作させることはできません。また、発信に使用した方法以外で切断することはできません。

※起動時発信とその他の発信方法を同時に有効にすることはできません。
システム設定ファイル(syscnfg.ini)にて適切な設定を行ってください。

発信先セクタ・ボタンによる発信



1 予めPBSP403-SIPに以下の設定を行います。

- ・基本設定ファイル (netcnfg.ini)
 - IP 192.168.1.10
- ・システム設定ファイル (syscnfg.ini)
 - AUTH_NAME2 100
 - AUTH_PASS2 abc
 - CCH 5060
 - BTN1_MODE SPSETUP ! ボタンAを発信切断モードに
 - INPUT_TYPE 1 ! ページングマイク用
 - PHONE2 100
 - PROXY1 192.168.1.20
 - PROXY1_PORT 5060
 - REGISTER1 192.168.1.20
 - REGISTER1_PORT 5060
- ・電話番号設定ファイル (phone.ini)
 - [S11]<200> SERVER ! SIP電話 200
 - [S21]<300> SERVER ! スマートフォン 300

2 PBSP403-SIPの発信先セクタを 1 に合わせてボタンAを押すと、SIP電話機へ発信します。

ページングマイクからの音声はSIP電話機側に聞こえ、
SIP電話機からの音声はPBSP403-SIPの内蔵スピーカから聞こえます。

3 ボタンAをもう一度押すと切断します。

4 PBSP403-SIPの発信先セクタを 2 に合わせてボタンAを押すと、スマートフォンへ発信します。 ボタンAをもう一度押すと切断します。

再発信（SP回線）

発信先が話中の時や見つからない時に、自動で再発信をすることができます。その場合の syscnfg.ini 設定例と動作例を紹介します。

パターン①

同じ発信先に 2 回再発信したい場合

RTY_SETUP	2	10	! 10 秒間隔で 2 回再発信
CIN1_DIAL	100		! C.IN1 に接点入力で 100 へ発信
CIN1_SETUP	1		! C.IN1 を TOGGLE で使用

【動作例】

1. C.IN1 に接点入力で 100 へ発信 → 話中
2. 10 秒後に 100 へ自動再発信 → 話中
3. 10 秒後に 100 へ自動再発信 → 話中
4. 待機状態へ

パターン②

異なる発信先に再発信したい場合（一巡）

RTY_SETUP	-1	10	! CIN1_DIAL 設定件数分、10 秒間隔で再発信
CIN1_DIAL	100		! C.IN1 に接点入力で 100 へ発信
CIN1_DIAL	200		! C.IN1 接点入力時の再発信先 200
CIN1_DIAL	300		! C.IN1 接点入力時の再発信先 300
CIN1_SETUP	1		! C.IN1 を TOGGLE で使用

【動作例】

1. C.IN1 に接点入力で 100 へ発信 → 話中
2. 10 秒後に 200 へ自動再発信 → 話中
3. 10 秒後に 300 へ自動再発信 → 話中
4. 待機状態へ

パターン③

異なる発信先に再発信したい場合（繰り返し）

RTY_SETUP	-1	10	-1	! CIN1_DIAL 設定件数分、10 秒間隔で再発信
CIN1_DIAL	100			! C.IN1 に接点入力で 100 へ発信
CIN1_DIAL	200			! C.IN1 接点入力時の再発信先 200
CIN1_DIAL	300			! C.IN1 接点入力時の再発信先 300
CIN1_SETUP	1			! C.IN1 を TOGGLE で使用

【動作例】

1. C.IN1 に接点入力で 100 へ発信 → 話中
2. 10 秒後に 200 へ自動再発信 → 話中
3. 10 秒後に 300 へ自動再発信 → 話中
4. 10 秒後に 100 へ自動再発信 …以降繰り返し

第6章 製品仕様

PBSP403-SIP の製品仕様です。

製品名	LANdeVOICE PBSP403-SIP
型番	LdV4-PBSP403-SIP
LANポート	2 ポート (RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX) ・ IPv4 (DHCPクライアント機能サポート) ・ IPv6 非対応 LAN1 ・ MDI (Auto MDI/MDI-X機能なし) ・ PoE受電可 LAN2 ・ MDI-X (Auto MDI/MDI-X機能なし) ・ PoE受電不可
電話ポート	1 ポート TEL ・ FXS ・ RJ-11 ・ 選択信号 : PB信号 DP信号 (10pps, 20pps) 自動切替 ・ 給電電圧 : 約 48V (端子間開放の場合)、約 30mA (代表値) ・ 呼出信号 : 16Hz 変形矩形波 (負荷のインピーダンスにより、出力電流・電圧ともに変化する。) ・ 極性反転機能あり
公衆回線ポート	1 ポート PSTN ・ FXO ・ RJ-11 ・ 選択信号 : PB信号 DP信号 (10pps, 20pps) 設定切替 (出荷時設定はPB信号) ・ 直流給電最大定格 : 85mA ・ 呼出信号認識範囲 : 16Hz~20Hz ・ 極性反転機能対応 ・ 端末認証番号 : AD21-0097001 号
音声入出力 (SP回線)	L.IN×1 ポート L.OUT×1 ポート 内蔵スピーカ×1 ・ 3.5φミニジャック (3 極) ・ モノラル音声 ・ 内蔵スピーカ音量調整 : 16 段階 (音量ボタン) ※最大音量になると「ピピッ」と音が鳴る

接点出力	C.OUT×2 ポート ・ 出力形式：無電圧a接点 ・ 極性なし、交流負荷も接続可能 本体内部回路からは絶縁されている ・ 最大定格：DC45V 800mA (AC30V 550mA rms、周波数は 100Hz未満の正弦波) ・ 端子形状：ユーロブロック、5.08mm間隔、2 極 対応する線材の太さ：0.5～3.5SQ
接点入力	C.IN×2 ポート ・ 入力形式：無電圧a接点 (短絡でON、解放でOFF) ※外部から電圧を印加しないこと ・ 極性あり (P.10 参照) ・ 本体内部回路からは絶縁されていない ・ 端子形状：ユーロブロック、5.08mm間隔、2 極 対応する線材の太さ：0.5～3.5SQ
操作ボタン	3 個
発信先セクタ	1 個 (目盛数：9)
状態表示LED	上面：5 (電源、接続、PSTN、TEL、SP)
呼制御プロトコル	SIP
音声通信機能	・ 圧縮方式：G.711 (μ-LAWのみ)、G729A ・ TEL、PSTN：エコーキャンセラ (G.168 準拠[64mSec]) ・ SP：アコースティックエコーキャンセラ搭載 ・ 無音声圧縮処理サポート ・ DTMF中継機能サポート (みなし音声、INFOメッセージ、RFC2833)
FAX通信機能	・ みなし音声通信 ・ FAXモード専用通信 (T.38)
設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの操作 (設定画面)、Webブラウザからのファイル転送
筐体	プラスチック筐体

動作環境温度の目安 (無風状態の周囲 気温)	ACアダプタ受電時：0℃～40℃ PoE受電時：0℃～38℃ ※内蔵スピーカから最大音量で出力し続けた場合： 0℃～36℃	注) いずれも本体のみに ついての動作環境温度
電源	・ ACアダプタ受電 ・ PoE受電 ※ACアダプタ接続時はLANポートからのPoE受電を停止	
消費電力	最大：9.0W 代表値：3.5W（待機時）、6.3W（2 回線同時通話時）	
環境対応	欧州RoHS指令準拠 ※弊社独自の化学分析は行っていないが、本指令に準拠 した部材のみを製品に使用しています。	
外形寸法	170(W)×180(D)×75(H) mm（突起物含まず）	
質量	本体約 0.65kg	
付属品	・ ACアダプタ（1.5m）×1 - スイッチング電源方式 - 入力：AC100～240V （50/60Hz） - 出力：DC9V、1A - 対応環境温度：0℃～50℃ ・ LANケーブル（ストレート、3m）×1 ・ 接点コネクタ（ユーロブロック）×4 ・ 保証書 ・ シリアルシール	
デフォルトIPアドレス	192.168.1.24	
保証期間	購入後 1 年間	

接続可能機器	・ 2 線式アナログ電話機 ・ G3FAX機 ※スーパーG3（V.34）非対応 ・ 交換機（PBX）のCOT （局線トランク・アナログ外線トランク） ・ NTT公衆回線 ・ 交換機（PBX）の単独電話回線トランク ※PBX経由でFAX通信をする場合はG3FAXに対応、 ただしスーパーG3（V.34）非対応 ・ アンプ付スピーカ ・ 放送機器 ・ 音声入力機器 ・ 市販コンデンサマイク ・ 市販ダイナミックマイク ・ ページングマイク「LdV-PM660W」 ・ 接点入力のある機器 ・ 接点出力のある機器
オプション品	・ ページングマイク「LdV-PM660W」（変換コネクタ付属）

「L.IN」コネクタの仕様

入力端子	3.5φミニジャック(3 極)
入力レベル	LINE入力定格: 約 0dBm相当
入力方式	3 方式切り替え(LINE入力、コンデンサマイク、ダイナミックマイク)、不平衡(非絶縁)
内部回路抜粋	
備考	【入力アンプのゲイン(増幅)やアッテネータ(減衰)】 LINE入力: ゲインやアッテネータはない(増幅率 0dB) コンデンサマイク: 増幅率 24dB ダイナミックマイク: 増幅率 43dB ※全て代表値です。

「L.OUT」コネクタの仕様

出力端子	3.5φミニジャック(3 極)
出力レベル	最大 0dBm
出力方式	LINE出力、不平衡(非絶縁)
出力インピーダンス	600 Ω 以下
接続機器の入力インピーダンス(推奨)	600 Ω 以上(1k Ω 以上推奨)
内部回路抜粋	
備考	パソコン用の電源付きスピーカユニットでは左右同一(同相信号)の音声出力する

付 録

- 付録 1 コーデック(音声圧縮方式)とは
- 付録 2 使用帯域
- 付録 3 ファイル送信による設定について
- 付録 4 TEL回線の交換機(PBX)接続時の設定について
- 付録 5 FAX接続時の設定について
- 付録 6 DHCP設定の場合について
- 付録 7 修理について
- 付録 8 パソコンのネットワーク設定について

付録 1 コーデック（音声圧縮方式）とは

電話機の音声（アナログ信号）は、コーデックによりデジタル信号に変換（符号化、複合化）します。PBSP403-SIPはコーデックにG.711（64kbps圧縮）、G.729A（8kbps圧縮）を使用します。

付録 2 使用帯域

PBSP403-SIP が 1 対 1 で通話する際に使用する音声帯域は以下の通りです。

コーデック	パケット送信間隔(ms)	帯域(kbps)
G.711	20	87.2
G.729A	20	31.2

■参考情報

実際には使用する回線のヘッダ情報等が追加される場合があります。

付録3 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」(P.26 参照)にてWeb上へ送信(アップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

1 以下の形式でファイルを作成します。

【ファイル名と拡張子】

基本設定ファイル:「netcnfg.ini」

システム設定ファイル:「syscnfg.ini」

マルチキャスト受信設定ファイル:「server.ini」

電話番号設定ファイル:「phone.ini」

アクション設定ファイル:「action.ini」

【ファイル形式】

テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください)

※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については
「第4章 設定ファイル一覧」を参照してください。

2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信／バックアップファイルの復元」にて、作成した各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

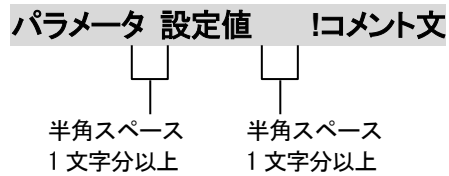
3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。

※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

■記述方法と編集ルール

基本設定ファイル (netcnfg.ini) の記述方法と編集ルールは以下の通りです。
※その他の設定ファイルについては設定画面と同様です。

<記述方法>



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

■ 基本設定ファイル(netcnfg.ini)に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP (IPアドレス/ ネットマスク)	PBSP403-SIPのIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 DHCPモードで使用する場合には、 "255.255.255.255"と入力します。 (P.78 参照) ネットマスク: 「/」(スラッシュ)の後にネットマスク (ビット数)を記述してください。 (記述例 IP 192.168.1.24/24)	IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	192.168.1.24 /24
ROUTER (デフォルト ゲートウェイ)	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIP アドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、 設定不要です。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を 削除してください。 (記述例 ROUTER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
DNS1 (DNS1)	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・DNSサーバを使用しない場合には、設定不要 です。 ・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定 しないでください。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を 削除してください。 (記述例 DNS1 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定

パラメータ名 (設定画面上 の項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
DNS2 (DNS2)	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・DNSサーバを使用しない場合、またはセカンダリDNSが無い場合には、設定不要です。 ・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を削除してください。 (記述例 DNS2 192.168.1.2)	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定
TERM_NAME (端末名)	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 TERM_NAME abc-123)	最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)	シリアルナンバー(SN)が表示されます
HTTPD_PORT (HTTPポート 番号)	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。 セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定するか、パラメータ名のみ残し、値を削除してください。 (記述例 HTTPD_PORT 8084)	0~65535	8084
NTPS (NTPサーバ)	NTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・IPアドレス設定の場合、数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・NTPサーバを使用しない場合には、設定不要です。 (記述例 NTPS 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ) または ドメイン名	未設定

付録 4 TEL回線の交換機（PBX）接続時の設定について

TEL回線を交換機(PBX)に接続する場合は以下の設定をしてください。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)		
パラメータ名	設定値	備考
DIDMODE	交換機の仕様や運用に合わせて以下のいずれかを設定してください。 0(通常呼出モード) 1(簡易DIDモード) 2(NTTダイヤルインモード) 3(ナンバーディスプレイモード)	【ダイヤルイン機能やナンバーディスプレイ機能を利用しない場合】 0に設定してください。 【ダイヤルイン機能を利用する場合】 通常は2に設定し、うまくいかなかった場合は1で試してください。 ※簡易DIDモードとは、PB402-SIP着信後にPBXが応答した時点で通話状態になるモードです。 【ナンバーディスプレイ機能を利用する場合】 3に設定してください。
PHONE1	[TEL回線の電話番号]/ 【解説】 TEL回線の電話番号を"[]" (角かっこ)でくくり、後ろに"/" (スラッシュ)をつける	【設定例】 PHONE1 [100]/ 【動作】 100 から始まる電話番号がダイヤルされると全てTEL回線に着信し、100 を省略した番号を交換機へ送出 例) 10010 がダイヤルされる → TEL回線に着信 → 10 を交換機へ送出 【交換機側でダイヤルポーズが必要な場合】 “P”を“<>”(山かっこ)でくって任意の位置に挿入することで、交換機へ番号を送出する際にポーズを入れることが可能です。 “P”ひとつで約1秒間ポーズします。 (設定例)PHONE1 [100]<PP>/ →10010 がダイヤルされるとTEL回線着信後に約2秒間ポーズしてから10を交換機へ送出

付録 5 FAX接続時の設定について

PBSP403-SIPにFAXを接続する場合や、公衆網または交換機(PBX)経由でFAX通信をする場合の設定については、FAX機等の環境に依存するところがあります。一定の設定基準があるわけではありませんが、下記を参考のうえ、システム設定ファイル(syscnfg.ini)のパラメータを必要に応じて調整してください。

パラメータ名	設定値	備考
出力レベルの設定		
VOL_OUT1(3)	環境に合わせて調整してください。	出荷時設定より少し下げた方がアナログ信号上のノイズの影響を低減しやすくなりますが、その場合FAX機間で減衰等があると、逆に信号を伝えにくくなります。
音声バッファの制御に関する設定		
DJBOF	13 ※ジッタバッファ静的モード (記述例 DJBOF 13)	出荷時設定では記載がありませんので、設定ファイル内にパラメータごと追記してください。
JB_MIN	静的モードにおける ジッタバッファのサイズ 設定可能値:0~280 単位:ミリ秒 (記述例 JB_MIN 100)	

付録 6 DHCP設定の場合について

PBSP403-SIPではIPアドレスをDHCP設定にすることが可能です。その場合の手順や条件について説明します。

- 1 DHCP設定をするためには、PBSP403-SIPの基本設定ファイル(netcnfg.ini)にてIPアドレスを「255.255.255.255」と設定してください(P.30 参照)。
- 2 PBSP403-SIPの設定変更後、全LED(「PSTN」はアナログ回線接続有無による)が青点灯になっていれば、IPアドレスの取得とレジストが完了している状態です。
詳細なLEDの状態についてはP.11 を参照してください。
- 3 DHCP運用時のIPアドレスはSIPサーバ側で確認してください。



注意 IP アドレスがわからなくなった場合

IPアドレスが取得できない、レジストができない等でIPアドレスがわからなくなってしまった場合は、一度初期化(P.28 参照)を行ってから設定し直してください。

付録 7 修理について

修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。
今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店へご連絡ください。

修理については弊社Webサイトをご参照ください。
<https://www.a-2.co.jp/top/repair.html>

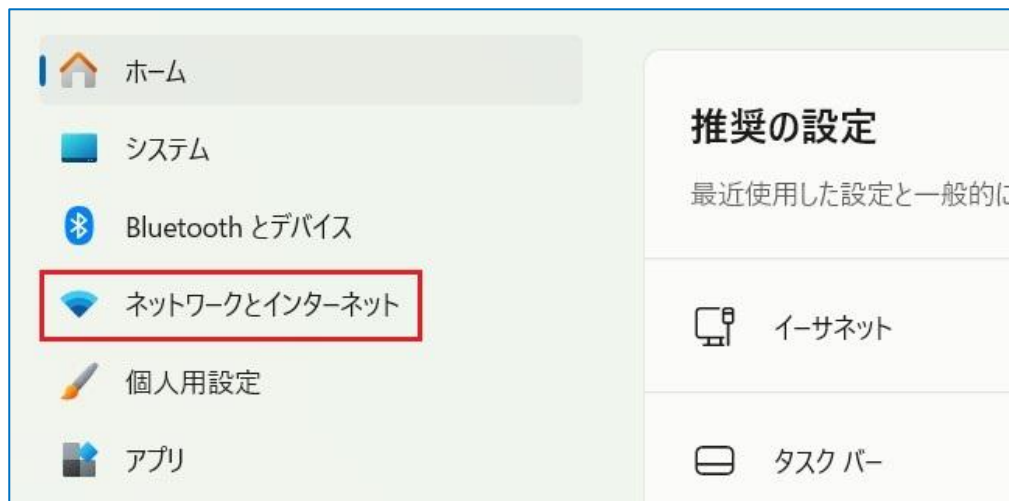
付録8 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。
設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認した Windows 11 について記載します。

1. 「スタート(窓マーク)」をクリック→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」が開くので、「イーサネット」をクリックしてください。



4. 「イーサネット」が開くので、「IP 割り当て」の「編集」をクリックしてください。



注意 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

5. 「IP 設定の編集」ウィンドウが表示されるので、「手動」→「IPv4」を「オン」の順にクリックし、以下の値を入力してください。
「ゲートウェイ」、「DNS」の値は不要です。
入力したら「保存」をクリックします。

IP 設定の編集

手動

IPv4

☒ オン

IP アドレス

192.168.1.100

サブネット マスク

255.255.255.0

ゲートウェイ

優先 DNS

HTTPS 経由の DNS

オフ

代替 DNS

HTTPS 経由の DNS

オフ

IPv6

☐ オフ

保存

キャンセル

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	設定なし
優先 DNS	設定なし
HTTPS 経由の DNS	オフ
代替 DNS	設定なし
HTTPS 経由の DNS	オフ

6. 【確認】「イーサネット」にて、「IP 割り当て」が「手動」、「IPv4 アドレス」が「192.168.1.100」、「IPv4 マスク」が「255.255.255.0」になっていることを確認します。

ネットワークとインターネット
イーサネット

イーサネット
未接続

認証設定
編集

従量制課金接続
このネットワークに接続している場合、データ使用量を減らすためにアプリによっては異なる動作が行われる可能性があります。
オフ

このネットワーク上のデータ使用量を制御するためのデータ通信量上限を設定する

IP 割り当て:
手動

IPv4 アドレス:
192.168.1.100

IPv4 マスク:
255.255.255.0

編集

DNS サーバーの割り当て:
自動 (DHCP)

編集

82

メーカー保証について

この製品は、厳密な検査に合格したものです。

お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 製品に付帯している標準のメーカー保証期間は、製品購入後 1 年間です。
- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 保証期間内で修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日および販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証規定

○保証期間内に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。

○修理はセンドバック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。

○本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。

○お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツーおよび販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

1. 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
2. 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

○本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。

○次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

1. 取扱い上の誤りによる故障および損傷
2. お客様にて分解・改造・修理をされている場合
3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障および損傷
4. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障および損傷
5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障および損傷
7. 日本国外で発生した損害
8. お引渡し日および販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合

○本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合にのみ有効なものとします。(This warranty is valid only in Japan.)

○本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。



〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

E-mail : landevoice@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:00

＜土日祝日、その他弊社休業日を除く＞

＜お問い合わせ先＞

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使用情况のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ・製品名 (Model)
- ・シリアル番号 (SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容(症状や状況、ネットワーク環境等を詳細に)